

東海バロックプロジェクトによる

「バロック音楽を知るためのヒント」～2nd

今回はそれぞれの楽器に焦点をあてます。

チェンバロをはじめ、バロック時代に使われていた楽器に実際に触れたり、歌ったりする事でより身近にバロック音楽を感じてみましょう。体験だけでなくプロによる演奏と楽器についての話もお楽しみいただきます。

第4回: 11月22日(日) 16時～17時15分

バロックチェロってどんな音？

普段は通奏低音として、縁の下の力持ちに徹しているバロックチェロ。

ソロ楽器としても魅力的なその音色を、モダンチェロとの比較や演奏とともにご紹介します。

演奏者: 小林 玉実

(バロックチェロ)

中川 智之

(バロックヴァイオリン)

鈴木 美香

(チェンバロ)



曲目(予定): G.F.ヘンデル
A.ヴィヴァルディ
J.H.シュメルツァー

オンブラ・マイ・フ
チェロソナタ 変ホ短調 Op.14-5 より第1楽章
ヴァイオリンソナタ 第4番 二長調

受講料: 各回 会員: 4,104円 一般: 4,320円 (入会不要)

体験内容: 「バロックチェロ」(30分程度) 弾く、構える、触れるなど

～今後のご案内～

第5回: 12月13日「フラウト・トラヴェルソがフルートになった時」* 11階東教室



朝日カルチャーセンター
朝日JTB・交流文化塾

名古屋

〒460-0008名古屋市中区栄3-4-5スカイル10F
電話: 052-249-5553
ホームページ: <https://www.asahiculture.jp/nagoya/>

■プロフィール

小林 玉実（こばやし たまみ）

名古屋芸術大学音楽学部演奏学科卒業。同大学大学院音楽研究科修了。

在学中、同大学主催演奏会に多数出演。「コンチェルトの夕べ」にて、ラロ作曲チェロ協奏曲第一楽章を名古屋芸術大学オーケストラと、「大学院修了演奏会」にて、エルガー作曲チェロ協奏曲をコレギウム・アカデミカと共演。第15回「エメラルド新人演奏家コンサート」、第10回「ちりゅうフレッシュコンサート」に出演。これまでに、チェロを羽川真介、小笠原恭史、山本裕康の各氏に師事。また古楽アンサンブルを中川智之氏に師事。2013～2014年度、名古屋芸術大学契約助手。

現在、東海地方を中心にレッスンや演奏活動を行っている。

中川 智之（なかがわ ともゆき）

武蔵野音楽大学音楽学部器楽科ヴァイオリン専攻卒業後、ウィーン国立音楽大学へ留学。

インスブルク国際ナショナル古楽セミナーマスターコースに参加。イングリット・ザイフェルト氏、ヒロ・クロサキ氏に師事。欧州各地の演奏会に出演。

現在、名古屋古楽協会主宰、名古屋音楽学校講師、日本弦楽指導者協会中部支部理事、武蔵野音楽大学同総会愛知県支部支部長、東海バロックプロジェクトメンバー。

鈴木 美香（すずき みか）

名古屋音楽大学卒業。在学中よりチェンバロを始め、故及川真理子、有田千代子、宇田川貞夫の各氏に師事。

‘92年インスブルク国際サマーアカデミーにてヨハン・ゾンライトナー氏のマスタークラス修了。

‘89年デザイン博でチェンバロ協奏曲を演奏。大同特殊鋼名演奏家シリーズ ‘94でN響室内合奏団とチェンバロ協奏曲を共演。‘95年ワルシャワ・ソロイストと共演。ザ・コンサートホール・アンコール ‘99に出演。名古屋市民芸術祭 2003に参加、J. S. バッハ「ゴルトベルク変奏曲」を演奏し好評を博す。‘06年、女性4人の古楽アンサンブル「クロチェット」を結成。ダイナミックなアンサンブルとスタイリッシュなステージで多くのファンを得ている。‘07年度大阪国際音楽コンクール「アンサンブル部門」入賞。名古屋音楽大学非常勤講師。愛知県立明和高等学校音楽科非常勤講師。「東海バロックプロジェクト」代表。名古屋バロック音楽協会会員。